

○派遣会社調査 アンケート調査票

派遣サービスの質やスタッフの働く意欲の向上に関する調査

このアンケート調査は、厚生労働省が三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に委託して行う「労働者派遣事業における雇用管理改善に関する調査」の一環として、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が企画し実施させて頂くものです。

本調査は、事務系職種の派遣を行う派遣会社を対象に、派遣労働者が気持ちよく働くための工夫や取組、派遣労働者の雇用管理の現状と課題を把握するために実施するものです。派遣労働が拡大していく中、派遣スタッフの適切な労働時間管理や評価・処遇、就業中のフォローなど、雇用管理に対する改善が求められるようになってきています。派遣スタッフが良好な職場環境の下で気持ちよく働くことができるよう、派遣元・派遣先企業が派遣スタッフの雇用管理の改善に取り組むことは、派遣スタッフの働く意欲の向上や定着率の上昇などを通じて、本人のみならず、派遣元・派遣先企業の利益にもつながると思います。つきましては、なにとぞ本調査の重要性に鑑み、皆様方のご協力を賜りたく存じます。調査結果は、この問題に取り組んでいこうとする派遣元・派遣先企業にとって参考となる情報提供に役立てるとともに、今後の厚生労働行政を検討する上での参考といたします。

なお、ご回答いただいた内容は全て統計的に処理しますので、個々の調査票の結果が公表されることや、ご回答が弊社及び委託元以外に知られることは全くございません。お手数ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご記入にあたってのお願い

- 本アンケートは、貴社人材派遣事業・営業担当部長殿を対象にしております。万一、他部門に届いております場合は、お手数ですが該当部門に転送いただきますと幸いです。
- お手数ですが、全質問についてご記入ください。
- ご記入は黒または青のボールペン、万年筆、濃いめの鉛筆をご使用ください。
- 数字での回答は、直接□の中に記入してください。回答項目が用意されている場合は、あてはまる項目の番号に○印を記入してください。また、「その他（ ））」にあてはまる場合は、ご面倒でもなるべく詳しくご記入ください。
- ご記入頂きましたアンケート用紙は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて、**9月26日（金）までに**ポストに投函してください。

Q. 派遣会社の基本属性

F 1. (派遣事業開始年) 貴社が派遣事業を開始した年を西暦で回答してください。

--	--	--	--	--

 年

F 2. (企業規模) 貴社の派遣事業の平成 19 年度の年間売上高を回答してください。
(○は1つ)

1. 1 億円未満	5. 20 億円～50 億円未満
2. 1 億円～5 億円未満	6. 50 億円～100 億円未満
3. 5 億円～10 億円未満	7. 100 億円～700 億円未満
4. 10 億円～20 億円未満	8. 700 億円以上

F 3. (登録型派遣事業) 貴社では、派遣として働くことを希望する人を登録し、そのなかから雇用する仕組み(登録型派遣事業)がありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

F 4. (稼働者数) 貴社の派遣スタッフ(全職種)のうち、現在派遣先で就業中の派遣スタッフの人数はどのくらいですか。

--	--	--	--	--

 人。(概算で構いません。)

F 5. (稼働者数) F4でお答えいただいた稼働者数(全職種)のうち、事務系職種[※]の派遣(以下、事務系派遣という)スタッフが占める割合(%)はどのくらいですか。
(○は1つ)

1. 0% → 0%の方は、アンケートは終わりです。	7. 50～60%未満
2. 0～10%未満 (それ以外の方は F6 以下にも	8. 60～70%未満
3. 10～20%未満 お答えください。)	9. 70～80%未満
4. 20～30%未満	10. 80～90%未満
5. 30～40%未満	11. 90～100%未満
6. 40～50%未満	12. 100%

※)ここでいう事務系職種とは、自由化業務の一般事務のほか、事務用機器操作(5号)、ファイリング(8号)、財務処理(10号)、貿易業務・営業事務(国内取引文書作成)(11号)、受付・案内等(16号)、テレマーケティング(24号)を指します。

以下の設問は、事務系派遣を行っている事業者の方にお聞きます。特に断りのない限り、貴社の事務系派遣事業、事務系派遣スタッフについてお答え下さい。

F 6. 貴社の事務系派遣で扱っている職種に○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 事務用機器操作 (5号)
2. ファイリング (8号)
3. 財務処理 (10号)
4. 貿易事務 (貿易・国際業務) (11号)
5. 営業事務 (国内取引文書作成) (11号)
6. 受付・案内等 (16号)
7. テレマーケティング、コールセンターのオペレーター (24号)
8. 一般事務 (経理事務を含む) [自由化業務]
9. その他の事務系派遣 (具体的に: _____)

F 7. 上記の事務系派遣のうち、1番目に人数の多い職種はどれですか。また、2番目に多い職種はどれですか。それぞれ1つ選んで、□のなかに番号を記入してください。

(1) 1番 … □ (2) 2番 … □

F 8. 昨年度に比へた貴社の業況等をお聞かせください。(○は各1つ)

	かなり良くなっている	やや良くなっている	どちらともいえない	やや悪くなっている	かなり悪くなっている
(1) 事務系派遣の売上高	1	2	3	4	5
(2) 事務系派遣の派遣料金	1	2	3	4	5

1. 事務系派遣の特徴

Q 1. (成約率) 貴社の事務系の派遣スタッフのうち、登録後1カ月以内に、派遣先が決まる人はどのくらいいますか。(○は1つ)

1. 5%未満	3. 10~20%未満	5. 30~40%未満	7. 50%以上
2. 5~10%未満	4. 20~30%未満	6. 40~50%未満	8. わからない

Q 2. (定着率) 先月(8月)に、給与支払いの対象となった事務系の派遣スタッフのうち、貴社の派遣スタッフとして通算2年以上働いている人はどのくらいいますか。(○は1つ)

1. 10%未満	4. 30~40%未満	7. 60~70%未満
2. 10~20%未満	5. 40~50%未満	8. 70%以上
3. 20~30%未満	6. 50~60%未満	9. わからない

Q3. (派遣マネジメント) 事務系派遣スタッフに関する次のような事柄について、業界標準を想定した場合、自社をどのように評価しますか。(○は各1つ)

	業界標準より、かなり優れている	業界標準より、やや優れている	業界標準レベル	業界標準より、やや劣っている	業界標準より、かなり劣っている
(1) 派遣スタッフの質やサービスに対するユーザー企業の満足度	1	2	3	4	5
(2) 派遣スタッフの働く意欲	1	2	3	4	5
(3) スキルアップに対する派遣スタッフの意欲	1	2	3	4	5
(4) 仕事や働き方に対する派遣スタッフの満足度	1	2	3	4	5

Q4. (派遣スタッフ支援策) 事務系派遣スタッフに関する取組について、貴社の自己評価として最もよく当てはまるもの1つずつに○をつけてください。(○は各1つ)

	かなりできています	概ねできています	あまりできていません	ほとんどできていません
(1) 派遣スタッフの賃金水準向上支援	1	2	3	4
(2) 派遣スタッフのスキル向上支援	1	2	3	4
(3) 派遣スタッフの正社員転換支援	1	2	3	4
(4) 派遣スタッフとしての継続就業支援 ^{※)}	1	2	3	4
(5) 派遣スタッフへの福利厚生の実施	1	2	3	4

※) 希望すれば、派遣という働き方のまま、できるだけ長い期間に渡って働き続けられるようにすること

2. 事務系職種の派遣労働について

Q5. (派遣スタッフへの定期的な訪問の有無) 貴社では、稼働している派遣スタッフの職場を、定期的に訪問していますか。(○は1つ)

1. 訪問している	2. 訪問していない
-----------	------------

Q6. (派遣スタッフへの訪問頻度) 貴社では、稼働している派遣スタッフの職場をどのくらいの頻度で訪問していますか。(○は1つ)

1. 1週間に1回以上	4. 3カ月に1回程度	7. 全くない
2. 2週間に1回程度	5. 6カ月に1回程度	
3. 1カ月に1回程度	6. それ以下	

Q7. (派遣料金の見直し時期) 貴社では、事務系派遣スタッフの派遣料金の見直しをどのようなタイミングで行っていますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 全社的に一斉に派遣料金を見直しを交渉している
2. 個々の派遣スタッフの契約更新時に、見直しを交渉するようにしている
3. 契約更新時期にかかわらず、本人からの要望や、仕事の量の変化やスキルの向上に応じて、派遣料金を見直しを交渉するようにしている
4. その他(具体的に:)

Q8. (派遣料金の向上) 事務系派遣スタッフの賃金上がるのは、どのようなときが多いですか。最もよく当てはまるもの3つまでに○をつけてください。(○は3つまで)

1. 派遣スタッフのスキルや経験があがったとき
2. 派遣スタッフが業務に必要な資格を取得したとき
3. 貴社での通算派遣就業期間が長くなるにつれて
4. 同一の派遣先での継続就業期間が長くなるにつれて
5. 派遣先企業での仕事が高度化したり、仕事の幅が広がったとき
6. 派遣先企業の業績がよいとき
7. 派遣先企業で、同じような仕事をする正社員の給料が上がったとき
8. 派遣スタッフの派遣料金の世間相場が上がったとき
9. 派遣スタッフの派遣料金を一斉に改定したとき
10. 派遣スタッフの契約更新時
11. より条件のよい派遣先企業に移るとき
12. 一般事務から、専門性の高い事務系派遣(貿易事務、金融事務、MR 等)に職種転換するとき
13. その他(具体的に: _____)
14. 事務系派遣スタッフの派遣料金が上がることはない・ほとんどない

Q9. (特定職種の能力開発の有無) 貴社では、一般事務に従事している派遣スタッフなどを対象に、下記のような特定職種の派遣スタッフになるための教育訓練の機会を提供していますか(外部の講座について受講料を補助している場合も含まれます)。当てはまるもの全てに○をつけて下さい。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 財務処理(10号) | 6. 医療事務 |
| 2. 貿易事務(貿易・国際業務)(11号) | 7. MR(医薬情報担当者・医療営業職) |
| 3. 営業事務(国内取引文書作成)(11号) | 8. 研究開発(17号) |
| 4. 金融事務(銀行・証券事務) | 9. その他(具体的に: _____) |
| 5. 金融事務(金融外務員) | |

Q10. (能力評価の更新) 就業中の派遣スタッフについて、派遣先企業での働きぶりや、能力の向上についての評価をいつ実施していますか。当てはまるもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 派遣期間中にわたって定期的に
2. 定期的ではないが、派遣期間中に適宜
3. 派遣先の契約更新時に
4. 派遣先の契約終了時に
5. 次の派遣先を紹介する時に
6. 本人が希望したときに
7. その他(具体的に: _____)
8. 上記のいずれも行っていない